

ライディングスポーツカップ 2 & 4 SPNシリーズ 2020

イベントレギュレーション

1. 組織

- ・ スピードパーク新潟（以下、SPNと呼ぶ）は、同サーキットのイベント、ライディングスポーツカップ 2 & 4 SPNシリーズ 2020開催に際し、同イベントの企画、管理、運営、進行をしていく組織とする。

2. カート・ミニバイク

- ・ ライディングスポーツカップ 2 & 4 SPNシリーズ 2020でのカートクラスのレースは「TOYOPET SLカートミーティング 2 & 4 SPNシリーズ」及びカートOPENクラスを開催し、SLカートシリーズはYAMAHA-SSクラス、YAMAHAスーパーSSクラスに分けられる。
- ・ ミニバイククラスは HRC NSFトロフィー、SP-55EXP、SP-57INT、SP-1minチャレンジ、MB-M、シティバイクチャレンジ、NSF 100 HRC トロフィー、HRC GROM Cup、OPEN300に分けられ、それぞれの競技規則にて運営される。
- ・ SPNにて、車検を通過したマシンのみライディングスポーツカップ 2 & 4 SPN 2020シリーズに参加することが出来る。

3. ドライバー、ライダー

- ・ ライダー：スポーツ走行が出来れば参加できる
- ・ ドライバー：「YAMAHA SS/スーパーSS クラス」
有効なSLメンバーズカード、SLメンバーズブック、SLO安全協会加入証の以上3点を所有している者。
「カートオープンクラス」
当該年有効なJAFカートライセンスかSLOメンバーズカードを所持している事が望ましい。20歳未満の者が参加出場する場合には親権者または保護者の出場承諾書を参加申込書とともに提出すること。

4. エントリー

- ・ 各イベントのエントリーは、イベント毎の形で決定される。
- ・ 18歳以下の場合、エントリーは親権者の承認の下にされなければならない。
※カートクラスは20歳未満のドライバー、ピットクルーの場合、親権者の承認が必要
- ・ 締切日以降の参加申し込みの場合は遅延金として1000円が参加料に加算される。

(カートクラス、バイククラス共通)

5. 保険

・ミニバイククラス

競技に参加するライダーは原則として、「RIDING SPORT MEMBERS」に加入しなければならない。

・S Lカートクラス

YAMAHA-S S/スーパーS Sに参加するドライバーは「SLO スポーツ安全保険」に加入しなければならない。

※エントリー受付の際S L O安全協会加入証が必要です。

・カートOPENクラス

競技に参加するドライバーは原則として、「SLO スポーツ安全保険」に加入しなければならない。

(株)スピードパーク新潟を含む、「全国SLO加盟コース」、「RIDING SPORT MEMBERS加盟コース」にて加入可能。

6. ブリーフィング

- ・ 競技に参加するドライバーもしくはライダーは、ブリーフィングに参加しなければならない。ブリーフィングに参加しない参加者は、当該イベントに参加することが出来ない。

7. イベントスケジュール

- ・ 全てのイベントは同じ日に行う。また、タイムスケジュールは前もって公式通知にて、ホームページもしくは、SPN事務所にて掲示することとする。

8. サーキット走行に関する規則

サーキット走行における厳守事項

- ・ サーキット走行する際は、SPNにて定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員・オフィシャル等の指示に従わなければならない。

優先権

- ・ 基本的にレコードラインを走行するものに優先権がある。
- ・ スロー走行するものは、レコードラインを走行する者の進路を塞いではならない。
- ・ ピットロードにおいては、ピットインする車両に優先権がある。

走行中の注意

- ・ 常にフラッグを確認し、その指示に従う義務がある。
- ・ いかなる場合でも逆方向または、規定以外のコースを走行してはならない。

押し掛け禁止区間

- ・ SLカートクラスにおいて押し掛け禁止区間を設ける。
- ・ 1 コーナーから 2 コーナー立ち上がり区間においての押し掛け行為を禁止する。
- ・ その区間内で停止した車両（直結車両）は当該セッションリタイヤとなる。

ピットイン /コースイン

- ・ ピットインおよびコースインする際は、ホワイトラインをカットしてはならない。
- ・ ピットインする 2 つ手前のコーナーより、必ず手で合図し、右端を走行すること。
- ・ ピットロードにおいては、必ず徐行で走行しなければならない。
- ・ いかなる場合でも、ピットロードで停車することは出来ない。
- ・ 必ず停止区域で停車しなければならない。
- ・ サインボードを出す際は、走行者に優先権があることを認識し、自己の責任において安全確保するものとする。

※ここで言う徐行とは、タイヤをロックすることなく何時でも安全に停止できる速度、走行のことを言う

コースアウト

- ・ コースアウトしたら、後方の安全を確認してコースに復帰することが出来る。その際、コースを汚してはならない。
- ・ 接触などした場合は、車両の確認にも留意しコースを汚してはならない。
- ・ トラブル等で走行を止める際は、車両をコース外の安全な場所に止め、グラベル隅または安全な場所に退避しなければならない。
- ・ その際は必ずヘルメットを着用していなければならない。
- ・ 走行中コースに液体等を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合、速やかにコース外へ出ること。
- ・ 車両は自己の責任において、安全装備、トラブル、事故の無いよう整備されてなければならない。

9. スタート方式

ローリングスタート

- ・ YAMAHA SS/スーパー S S 特別規則「第 4 章 競技に関する事項」、
「第 7 条 スタートの方法」参照のこと。

スタンディングスタート

ミニバイク規則「第4章 競技に関する事項」、「第5条 スタート方法」参照のこと。

10. ゼッケン

- ・ ミニバイククラス：ミニバイク規則「第3章 車両規則」参照のこと。
- ・ カートクラス：YAMAHA SS/スーパーSS特別規則「第3章 車両規則」参照のこと。

11. 抗議、控訴

- ・ 抗議に関しては、当該セッション終了後、正式結果発表までに大会組織委員長へ、20,300円(税込)の手数料と共に提出しなければならない。
- ・ 抗議は、抗議内容と関連するレースに参加した競技者により提出されなければならない。
- ・ 参加者は、決定が下されてから20分以内であれば控訴する権利を持つ。

12. 車検

- ・ 朝の車検では、カートクラスのドライバーは装備品も用意し、車検と共に受けること。

ミニバイククラスは、車両検査のみ行う。

※YAMAHA-SS/スーパーSSクラスはC I K/J A F公認実績のあるレーシングカートスーツの着用が義務付けられる。

- ・ 公式車両検査に合格した車両は、本大会中その形状を維持しなければならない。
- ・ 後車検では、表彰台に上がる上位3台を後車検の対象とする。チェッカー後パルクフェルメにて保管され、車両保管となる。その際、カートは重量測定も行う。
- ・ 公式結果発表後、車両保管解除となる。
- ・ 詳細は、各車両規定による。

13. ポイント制度

- ・ 全5戦の合計ポイント制となる。
- ・ レース距離の50%以下で中止された場合、50%のポイントが与えられる。レースの75%が消化している場合、フルポイントが与えられる。端数に関しては、繰り下げる。

1位－20pt 5位－5pt

2位－15pt 6位－3pt

3位－12pt 7位－2pt

4位－8pt 8位以下各－1pt

尚、シリーズ最終戦終了時点でポイントが同点の順位が発生した場合は、以前のレースにて上位入賞回数が多い選手に優先権がある。

- ・ポイントは完走者のみに与えられる。完走者とは全周回数の内65%以上を消化した者とする
上記の内容はミニバイククラスを対象とし、カートクラスについては、カート規則の方で別途定めるものとする。

14. 赤旗中断された場合

やむを得ない理由により赤旗にて走行が中断された場合、
走行再開の手順は以下のとおりとする。

フリー走行・タイムアタック予選時

- a) 赤旗にて走行が中断された時点での時間を差し引いた残り時間が、残りの走行時間となる
- b) 残りの走行時間が3分を切っている場合は、サーキット責任者又はレースコントロールの判断でそのセッションを終了とする。
- c) ただしb)においてもセッション中断が多くありタイムアタックが十分に行われていないとサーキット責任者又はレースコントロールが判断した場合は、セッションの5分間のセッション延長となる。

予選レース・決勝レース時

- a) スタートから2周を終えないうちに（トップの車両が2周目のコントロールラインを超えないうちに）走行が中断された場合はダミーグリットに付いた状態からのスタートのやり直しになる。
- b) スタートから2周を終え（トップの車両が3周目に入った以降に）、かつ全レース周回数の60%を終えていない時点での走行中断は、中断された時点の1周前の順位をグリット順とした2ヒート制のレースとする。レース結果は2ヒート目の着順とする。
全8周の60%……5周目まで
全12周の60%……8周目まで
2ヒート目は中断時の残り周回数から1周減算した周回数とする。
例) 決勝12周レースの4周目で赤旗中断した場合
12 - 3（成立した周回） = 9周 そこから1周引いた
残り8周での2ヒート目のレースとなる。
- c) 全レース周回の60%を越えてからの走行中断は、その赤旗を持ってレース終了とする。
レース結果は中断された時点の1周前の順位を着順とする。

※ 赤旗を確認したら後方に合図を出しながら減速してピットインをすること。ピットロードのコントロールライン手前でオフィシャルが誘導するので、そこで停車し指示に従うこと。

15.ピット及びパドック内におけるルール

- ・ピット及びパドックでの火気の使用を禁止する。

- ・ピット及びパドックでの喫煙は指定場所、移動車内、トランポ内を除き厳禁とする。注1
- ・場内でのドローンまたはこれに類似する物の使用を禁止とする。
- ・これらに違反した場合は嚴重注意とし、改善が見られない場合、当該イベントより除外する場合がある。

注1 電子タバコ等での喫煙も上記の内容を適用する。

16.各クラス賞金について

- ・シティバイクチャレンジクラスを除くレースにおいて参加台数が15台以上のカテゴリーは賞金レースとなる。ただし、新潟国際自動車大学校及び開志学園高等学校からのエントリーは参加台数に含めない。

1位-¥7000 2位-¥5000 3位-¥3000

17.年間表彰

- ・シティバイクチャレンジクラスを除くレースのシリーズチャンピオン及び2位、3位までを対象とし、これに該当するエントラントは次年度の2&4の参加費が

1位-¥3500 2位-¥4500 3位-¥5500

となる。

18. その他

- ・ミニバイクレースの際に使用される信号旗の意味は、カートクラスにて使用される旗と共通の意味を持つものとする。
- ・「カートクラス」「ミニバイククラス (CBRクラス含む)」共に、マイポンダー台座の購入、装着を義務とする。(スピードパーク新潟にて販売中)